

再生適格要件チェックリスト

担当部・課(班)	
債務者名	

大項目	小項目	小項目 の判定	判定コ メント	大項目 の判定
1. 債務者の誠意、意欲	・ 債務者は、弁済に関し誠意ある姿勢にあるか。			
	・ 債務者が、関連会社をも含めて自らの資産・負債について誠実に開示しているか。			
	・ 債務者が再生に対し意欲を持っているか。従業員の協力を得られるか。			
2. 経済的合理性	・ 企業再生が債権者にとっても経済合理性が期待出来るか。 ・ 再生による回収見込額と清算配当額等との比較。(原則・・より回収額の多い方式を選択する) 回収の確実性(確率軸と時間軸で検証)を総合的に判断して評価する。			
3. 再建の可能性	・ 事業価値(市場競争力)を有するか。 技術力、営業力、商品力、商圏、商権、人的資源、業界動向等の総合評価。			
	・ 重要な事業部門で営業利益を計上するなど、債権者の支援により再建の可能性はあるか。 着眼項目：法定償却相当額控除後の 営業利益 > 0 (全体又はコア事業で) 借入金残高/EBITDA 等			
	・ 必要に応じ、リストラの余地があるか。			
	・ スポンサー出現の可能性はあるか。			
4. 主要債権者意向等	・ 再生型処理に対し大口債権者の同調が見込まれるか。			
5. その他債権者の動向	・ 大口債権者と同調する動きがあるか。			
6. 経営責任	・ 必要に応じ、経営者の交替や私財提供等の経営責任を明確化できるか。			
7. 株主責任	・ 必要に応じ、増減資を実施するなど、既存株主等の株主責任を明確化できるか。			
8. 関係会社の透明性	・ 関係会社を含むグループ全体の財務情報が十分に把握できているか。			
9. RCCの社会的使命との適合性	・ 当該企業等が反社会性を有することはないか。			
10. 地域経済への影響	・ 当該地域経済への大きな影響があるか。			